

# わくわく本だな

## 6月号

富山市立図書館

### 今月のおすすめ



= 1・2年  
= 3・4年  
= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -

#### 「ダンデライオン」 (えほん) ドン・フリーマン/作 福音館書店



キリンのジェニファーさんからダンデライオンに、パーティの招待状がとどきました。おもいきりおしゃれにへんしんして行ったのに、だれだかわかってもらえず、中にはいけません。そのうち、空がくもり、雨までふってきました。

#### 「クムのおきゃくさん 白い丘のクム」 うのかずこ/作 国土社

あなうさぎの男の子・クムは、海をみおろすがけの上の丘にすんでいます。ふだんは人間にみつからないように、あなのなかにかくれています。ある日、人間の女の子がおとしていった人形をひろったクムは、“おきゃくさん”として家にとめることにしました。



このほかに、 **まいごのちびうさぎ** **かげうさぎとからすマント** があります。

#### 「ワンホットペンギン」 J. リックス/作 文研出版



フェランは元気な男の子ですが魚が大きいです。これには両親もこまっていました。なぜって、フェランの家は代々漁師なのですから。

けれども、動物園でしりあったペンギンのねがいをかなえるために、フェランは漁船にのってのはるばる南極をめざすことになりました。

#### 「クマは『クマッ』となく?! おもしろ動物生態学」

熊谷 さとし/作 偕成社

トラのもようはたてじまか? 横じまか? ゾウはなぜ首が短いのか?

黒い竜のようなコウモリのむれの話など、おもしろい動物たちのすがたを、楽しいイラストでわかりやすく紹介しています。



# あたらしくはいった本

## えほん



「もぐもぐとんねる」 しらたに ゆきこ / 作 アリス館

もぐらのもぐもぐに、お父さんがいました。

「あしたから、とんねるほりのれんしゅうをはじめぞ」

ところがその夜、もぐもぐは一人でこっそり、とんねるほりをはじめてしまったのです。

どンドンほって、さいしょにたどりついたところは、うみでした。

「あまのじゃくなかえる」 イ サンベ / 作 少年写真新聞社

あまがえるのむすこは、かあさんのいうことをきかず、わざとはんたいのことばかりして、おもしろがっていました。かあさんは、しんぱいのあまりびょうきになって、しんでしまいます。

「かあさんゆるして！」むすこはやっと、すなおなきもちになりましたが...

“雨がふるとなぜかえるがなくのか”がわかる<sup>かんこく</sup>韓国のむかしばなしです。



## ものがたり

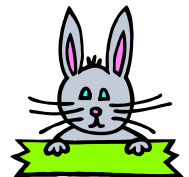
「のうさぎミミオ」 舟崎 克彦 / 作 あかね書房

のうさぎのミミオは、森の中でへんてこなおとしものをひろいました。

あなぐまは、「がっきじゃない？」といい、やまあらしは、

「わなだよ！」といいます。みんなそれぞれちがうことをいうのです。

いったい、これはなんなのでしょう？



「のいちごケーキのたんじょうび」 ほり なおこ / 作 ポプラ社

たんじょうびに、おかあさんがケーキをやいてくれることになりました。

「のいちごがたっぷりのケーキがほしいわ」 さっそく、森へ行ったはるか、のいちごひめ、いもうとひめ、ちびひめ、の三しまいに会います。

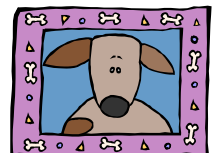


「いちばん<sup>わる</sup>悪いのはだれだ！ - へんてこ<sup>たから</sup>宝さがし - 」 三田村 信行 / 作 あかね書房

“恐<sup>きょうりゆう</sup>竜の耳かす” “マンドラゴンの根っこ” “むかしの<sup>さばく</sup>砂漠の砂”の

三つの宝を手に入れたピンチくんたち4人は、<sup>しょうきん</sup>賞金をもらうためにカネモッテの住むロマーノ市にやってきました。

ところが、犬のハックがゆうかいされ、宝をわたさなければ<sup>ころ</sup>殺すと言われます。



「<sup>あい ゆうじょう</sup>愛と友情のゴリラ - マジック・ツリーハウス - 」

メアリー・ポープ・オズボーン / 作 メディアファクトリー

“<sup>とくべつ</sup>特別なことばを使い、<sup>こと</sup>異なる世界と会話するための<sup>まほう</sup>魔法”を学ぶため、  
今回は、アフリカのジャングルにやってきたジャックとアニー。

さっそく赤ちゃんゴリラとなかよくなったアニーでしたが、  
ジャックは大人のオスゴリラに大声でほえられ、<sup>むね</sup>胸をたたいておこられてしまいます。



「<sup>たんてい</sup>少女探偵サミー・キーズと<sup>とうぼうしや</sup>小さな逃亡者 」

ウェンデルリン・V・ドラネン / 作 集英社

サミーは、ひょんなことから犬をあずかってパレードに出ることになりました。  
ところが途中で、犬が逃げ出してしまいます。

次の日、金持ちだけどケチでいじわるな<sup>かいぬし</sup>飼い主に<sup>きょうはくじょう</sup>脅迫状がとどきました。  
サミーは逃がした<sup>せきにん</sup>責任をとって犬を探し出すように命じられます。



「<sup>かがや</sup>クール・ムーンライト 月の輝く庭で 」

アンジェラ・ジョンソン / 作 あかね書房

8<sup>さい</sup>歳のライラは<sup>しきせいかんびしょう</sup>色素性乾皮症という<sup>たいしつ</sup>アレルギー体質です。

いつも、お日さまの光をさけて生活しなければなりませんでした。

“光”に強い<sup>たんじょう</sup>あこがれを持っていたライラは、<sup>たんじょう</sup>誕生パーティの夜、  
<sup>ま</sup>真っ暗闇の中で、<sup>くらやみ</sup>なにか光るものを発見したのです。



「<sup>とうぞく</sup>アラビアン・ナイト アリ・ババと四十人の盗賊 」

斉藤 洋 / やく 偕成社

アラビアン・ナイトのお話は、もうみなさんにおなじみですね。  
けれどもこの<sup>さいとう</sup>斉藤さんのアラビアン・ナイトシリーズは、ひとあじちがいます。  
わかりやすい<sup>ぶんしょう</sup>文章で、物語のおもしろさが<sup>ぶんしょう</sup>ぞんぶんに伝わってきます。

さらに、きらりと光るアラビアの<sup>ちえ</sup>知恵もちりばめられています。  
“ひらけ、ごま”のセリフが有名な「アリババと四十人の盗賊」のほかにも、  
3つのお話が入っています。

ちしきの本



「<sup>なぞ</sup>なぞそのなぞ <sup>なぞ</sup>生き物はなぞなぞだらけ 」

しばはら・ち / 作 汐文社

緑で黒くて赤いものなあに？ ジャンケンでカニに負ける木はなあに？  
子どもたちが大好きななぞなぞがいっぱいの本です。

どうやって答えをだすのかも、くわしく書いてあります。  
この3巻目は、<sup>かん</sup>生き物に関する<sup>かん</sup>なぞなぞです。子どもも大人も楽しめる一冊です。



# 6がつのこよみ



もうすぐ梅雨。雨の日がつづく、なんとなく気分もしずみがちです。  
そんな時こそ、本を読んで、「気持ちは晴れ！」にしましょう。

## 《 きょうは何の日？ 》

- 6月にはこんな人たちが生まれています -

- 6月9日 「赤とんぼ」を作曲した山田耕作こうさく
- 6月10日 水戸黄門みとこうもん
- 6月27日 ヘレン・ケラー  
「怪談」を書いた小泉八雲こいずみやくも
- 6月29日 「星の王子さま」を書いた  
サン・テグジュペリ

6月4日 虫歯予防デーむしばよぼう



「はははのはなし」  
加古 里子 / 作  
福音館書店

6月10日 時の記念日

「時計の大研究」  
PHP研究所

6月19日 父の日

6月の第3日曜日。

黄色いハンカチを贈るってこと、  
知ってましたか？



6月26日 ハーメルンの町で

神かくしがあつた日

童話「ハーメルンの笛吹き」は、  
この事件をもとに、書かれたといわれています。



## 図書館しょうかい! - 八尾図書館 ほんの森の巻 -

八尾コミュニティセンターの2階にある図書館です。

明るく広い館内はひとつのフロアになっていて、親子でゆっくり本を楽しめます。

また、ビデオやDVDを見たり、パソコンでインターネットを利用することもできます。

駐車場も広いので、お父さん・お母さんといっしょに来てね!

### おはなしの会

毎月第3土曜日、ごご2時30分から

おはなしコーナーで、たのしいよみかせ や おはなしをしています。



### 今月の展示

「みどりと環境の本」